

環境調査結果のお知らせ

令和3年12月21日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

水温は13.3~18.0℃で、前回調査時(R3.11.24)と比較して全層で2.5~3.1℃低下しました。
 塩分は26.2~32.0で、前回調査時と比較して全層で0.3~2.7上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.0~8.4 mg/Lで、前回調査時と比較して全層で0.3~0.9 mg/L増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.8mでした。

検鏡の結果、有害種のデイクチオカ属が5cells/mL確認されました。また、魚類に対しては無害とされていますが、二枚貝の変色(赤変)を引き起こすメソディニウム・ルブラムが最高で2cells/mL確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R3.11.24)	
		差(今回-前回)	
0m	13.3	15.9	▲ 2.6
1m	16.0	18.5	▲ 2.5
2m	17.7	20.6	▲ 2.9
B-1	18.0	21.1	▲ 3.1

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R3.11.24)	
		差(今回-前回)	
0m	26.2	23.5	2.7
1m	29.7	28.2	1.5
2m	31.7	30.6	1.1
B-1	32.0	31.7	0.3

表3 溶存酸素量(mg/L)

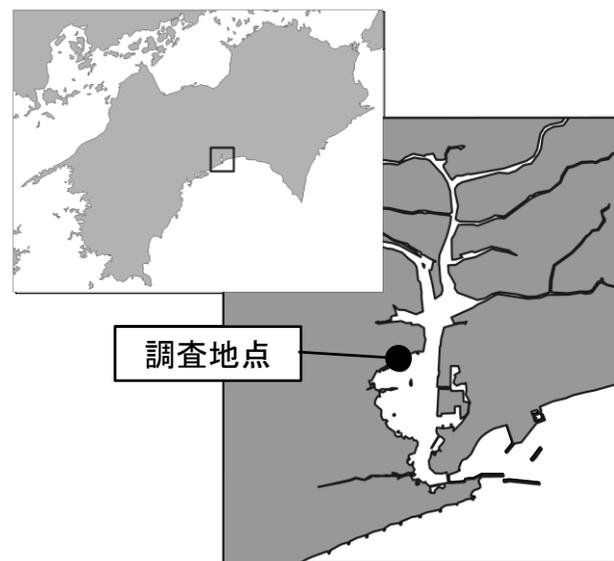
測定水深(m)	今回調査	前回調査(R3.11.24)	
		差(今回-前回)	
0m	8.4	7.5	0.9
1m	7.6	7.1	0.5
2m	7.1	6.8	0.3
B-1	7.0	6.3	0.7

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	3.5
透明度	2.8	2.1

表5 プランクトン(cells/mL)

測定水深(m)	デイクチオカ属	メソディニウム・ルブラム	珪藻類
0	5	2	0
1	2	0	0
2	0	0	3



漁業被害が想定される細胞密度

・デイクチオカ属: 数千~cells/mL
 (魚類等のへい死のおそれ有り)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>